

令和8年度広島県市町国民健康保険骨粗鬆症・骨折予防業務委託仕様書

1 業務の目的

転倒や骨折は、高齢者が介護を必要とする主な要因の一つであり、骨折予防は生涯にわたる生活の質（QOL）維持に不可欠であり、骨の健康を守るには、ライフステージに応じた適切な予防が必要である。

しかし、骨粗鬆症に対する関心や検診の認知、必要な知識の浸透は十分ではない現状がある。

そこで、県内の市町国民健康保険（以下「市町国保」という。）被保険者を対象に、効果的な広報・啓発を行い、骨粗鬆症のリスクと検診の重要性について理解を促す。これにより、リテラシー向上と骨密度検査の受診促進を図り、被保険者の健康保持・増進及び医療費の適正化を推進する。

2 委託業務名

令和8年度広島県市町国民健康保険骨粗鬆症・骨折予防広報業務

3 委託業務期間

契約締結日から令和9年1月31日まで

4 業務の目標等

(1) 目標

骨粗鬆症・骨折に関するリテラシーの向上

別途実施する調査において、広告後に実施する次の質問の回答の選択肢の「鍛えている」が、広告前比で10ポイント以上向上すること。質問項目全体は別紙1のとおり。

	質問	回答の選択肢	
⑨	筋肉を鍛えることで、骨を支え、転倒・骨折予防につながります。日頃から足腰を鍛えていますか。	鍛えている	鍛えていない

(2) 本業務が実現を目指す健康寿命延伸のプロセス

次の流れをターゲットが直感的に理解し、自分ごととして捉えられる設計とすること。

- 「骨量は20歳ごろに人生最大のピークに達し、その後は増えない」（認知）
- 「骨量低下の自覚」（骨密度検査）→ 「骨を筋肉で支える（筋力トレーニング）」
- 「転倒防止」→ 「骨折の回避」→ 「要介護状態の防止」→ 「健康寿命の延伸」

(3) ターゲット

65歳～74歳の女性（骨量減少世代）

自身の骨密度低下を認識し、検診受診及び運動習慣を実践すべき当事者

令和6年度65歳～74歳被保険者数：213,615人（男女計）

5 業務の内容等

広報の企画・実施・効果検証までの一切の業務とする。

なお、イベント及び景品配布などのインセンティブを用いた広報は実施しないものとする。

(1) 広告実施期間

令和8年10月1日から令和8年11月30日まで

(2) 基本戦略

ターゲット層の特性を踏まえ、次の2つのアプローチを連携させ、情報の到達と記憶の定着を図る。

ア 物理的アプローチ

医療機関や行政窓口を拠点に、ポスターやチラシの配布を通じて直接的な運動の促進を推進する。

イ メディアアプローチ

ターゲット層に効果的にリーチ可能な多様な媒体を活用し、足腰を鍛える運動の促進を図る。

(3) クリエイティブ要件

制作物は、単なる情報の列挙にとどまらず、「認知 → 納得 → 実践」のステップを確実に促す、戦略的なストーリー設計とすること。

ア 既存資産の活用

令和7年度に制作した骨粗鬆症・骨折予防キャラクター「ほねえさん」及びロゴマーク「オール広島・骨活プロジェクト」を継承し、認知度向上並びに浸透を図ること。

また、広報の継続性を確保するため、次の既存サイトを参考として、世界観及び表現・デザインの一貫性を保持すること。

既存サイト URL : <https://www.honekatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

なお、各種データは、契約締結後に発注者から提供する。

イ 新規キーフレーズの提案

令和7年度のキーフレーズである「折れない、生き方。」とつながりを持たせつつ、令和8年度のテーマである「骨を筋肉で支える(筋力トレーニング)」及び「4(2) 本業務が実現を目指す健康寿命延伸のプロセス」に記載のプロセスを融合させ、ターゲットである骨量減少世代のライフスタイルや関心に即した、独自キーフレーズを提案すること。

(4) 必須業務

ア 制作物の仕様・数量

品目	数量	仕様・要件
基本ポスター	150枚	・ B2カラー 片面 ・ 受注者は、複数種類のデザイン案を作成し、発注者、受注者が協議の上、決定する。
医療機関用ポスター	600枚	・ B3カラー 片面 十字折り加工 (B5サイズ仕上げ) ・ デザインは基本ポスターと同様とする。
チラシ	25,000枚	・ A4カラー 両面 3つ折り加工 ・ 外面：LP (啓発動画) への誘導 (QRコード) を入れること ・ 中面：保存版・骨を支える筋力トレーニングガイド (図解) ・ 受注者は、複数種類の案を作成し、発注者、受注者が協議の上、決定する。
チラシスタンド	200個	・ 紙製・組立式 A4三つ折り 縦置き ・ 骨粗鬆症・骨折予防の啓発のために、外側にロゴ及びキャラクターを用いたデザインを施すこと。 ・ 受注者は、デザイン案を作成し、発注者、受注者が協議の上、決定する。

啓発動画	1式 (7本)	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発動画の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・運動のハウツー動画（3分程度、横長、mp4形式） ・ハウツー動画で身体を動かしてもらうきっかけとなるようなショート動画（30-60秒、縦長／横長両方、mp4形式）×3本 → ショート動画を縦長と横長の両方制作し、市町庁舎のサイネージにも流用。 ・全ての動画において、動画のシナリオを作成し、内容を県及び有識者の合意がとれた上で制作に入ること。シナリオの構成回数は最大3回までとする。 ・ハウツー動画は、解説付きで約3分程度の長さとする。高齢者が閲覧することに配慮して制作すること。 ・ショート動画は異なる切り口で3パターン制作すること。それぞれの切り口の狙いを明確にし、ハウツー動画で身体を動かしてもらう導線も考慮すること。 ・なお、制作や公開後に課題が見つかった場合は、速やかに発注者へ報告し改善策を協議・実施すること。 ・それぞれの動画は最大3回まで校正することとする。（発注者が指定する有識者の監修を受けること。受注者は、発注者及び有識者に企画案説明、修正案説明をすること。） ・動画の出演者については、基本的に提案者に委ねるものとする。ただし、有識者は、説明及び実演に関して出演・収録に了承している。 ・啓発動画の周知方法については、提案によるものとし、効果的な情報拡散を目指すこと。
教育動画用資料編集	1式	<ul style="list-style-type: none"> ・教育動画は、発注者が指定する有識者が約5分程度の長さで作成する。 ・制作形式はpptxで15ページ程度を想定するが、受注者、発注者及び有識者の協議により最終決定する。 ・受注者は、啓発動画と教育動画の世界観やデザインに統一感を持たせるよう編集及び仕上げを行う。 ・資料の校正は最大3回までとする。 ・編集・仕上げ後の教育動画は既存サイトに掲載するため、既存サイトの保守業者と連携して円滑に掲載作業を実施すること。
会報誌掲載用データ	1式	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士会会報などに掲載する画像データを、発注者と協議の上、作成する。 ・掲載会報誌は4団体程度を想定し、受注者は各会報誌に適した微調整を行うものとする。
市町向け広報資材（データ）	1式	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌用：8種類 ・ホームページ用：1種類 ・デジタルサイネージ用動画（啓発動画再編集・音無し版） ・受注者は、複数種類のビジュアル案を作成し、発注者、受注者が協議の上、決定する。

イ 物流・発送管理

制作したポスター及びチラシについては、次のとおり確実かつ適切に配送を行うこと。
なお、発送に必要な資材は、(ア)及び(イ)の封筒を除き、受注者側で準備すること。

(ア) 医療機関【A】

- ・ 発送物セット：A2ポスター（1枚）、通知文書/A4片面（1枚）
- ・ 納品先：460箇所を見込むこと。
- ・ 発送資材は、発注者から提供する封筒（角2）を用いるものとし、受注者はその封筒に宛名を印字すること。

(イ) 医療機関【B】

- ・ 発送物セット：B3ポスター（1枚）、チラシ（40枚）、チラシスタンド（1個）、通知文書/A4片面（1枚）
- ・ 納品先：133箇所を見込むこと。
- ・ 発送資材は、発注者から提供する封筒（角2）を用いるものとし、受注者はその封筒に宛名を印字すること。

(ウ) 県本庁

- ・ 発送物の残部は、県庁医療保険課へ納品すること。

(5) 企画提案に関する事項

予算の範囲内で最大の成果（目標の達成）を得るための具体的な手法を提案すること。

ア メディア展開プラン

「5(2)ア 物理的アプローチ」の効果の最大化を図るため、メディアミックスについて、次の点を踏まえた最適な投入方法を根拠とともに提案すること。

- ・ メディア選定に当たっては、ターゲットである65歳から74歳の女性への到達精度（含有率）を最優先として媒体を選定すること。
- ・ 成果目標である骨粗鬆症・骨折に関するリテラシー向上につなげるための戦略を具体的に提示すること。
- ・ ターゲットに確実にリーチするため、年齢層、配信面、興味・関心などのターゲティング設定の根拠を明確に説明すること。

イ PDCAサイクルの具体化

広告期間中（2か月間）において、効果の低いクリエイティブや媒体を定期的に見直し、予算配分の最適化を図るため、具体的な運用体制（例：週次または隔週での効果検証および改善のチェック体制）を提案すること。

ウ その他

(4)必須業務の「啓発動画」及び「教育動画用資料編集」に当たっては、計400万円程度を目途にすること。（調整可）

6 必須業務の実施時期

	実施内容	実施時期
5(4)ア	市町向け広報資材（データ）納品 （広報誌用、ホームページ用）	令和8年9月上旬迄
	基本ポスター 納品	令和8年9月中旬迄
	医療機関用ポスター 納品	
	チラシ 納品	

	チラシスタンド 納品	
	会報誌掲載用データ 納品	
	市町向け広報資材（データ） 納品 （デジタルサイネージ用動画）	令和8年9月末迄

7 成果品の納期等

納品物	形式	数量	納期
制作した広報媒体 （映像・音声・画像・広告物等）	電子データ(※)	1式	完了の日から起算 して10日以内又は 令和9年1月31日 のいずれか早い日
完了報告書（効果測定の結果を含む。）	印刷物（A4版）	5部	
	電子データ	1式	

※広告物等で紙媒体がある場合は、紙媒体を含む。

8 その他

業務委託契約約款、機密情報取扱特記事項及び情報セキュリティに関する特記事項に記載するほか、次の事項を遵守すること。

(1) 業務の体制

受注者は、本業務の実施に当たって業務を総括する責任者を1名配置するとともに、業務担当者を明確にし、それぞれの所属や氏名、従事する業務を明記した任意の書面を提出すること。

なお、書面は、業務委託契約約款第3条に基づく業務工程表と併せて発注者に提出すること。

(2) 本県との調整

本業務の円滑な実施に当たって、発注者と定期的に打ち合わせをし、本業務の進捗状況を適宜報告する等、連絡調整を図ること。

また、打ち合わせを行った場合は、議事録を作成し発注者に提出すること。

(3) 再委託等

受注者による第三者への委託（以下「再委託等」という。）を行う場合は、次のとおりとする。

ア 発注者の承諾

本業務の一部を再委託等しようとする場合、受注者は、次に掲げる事項を明記した書面を提出し、あらかじめ発注者の承諾を得ること。

(ア) 再委託等する業務の範囲

(イ) 再委託等の合理性及び必要性

(ウ) 再委託等の相手方の概要及びその体制（業務履行能力）と責任者

(エ) 再委託等に係る金額

イ 再委託等の要件

再委託等する場合、本業務における総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分を再委託等することはできない。また、本業務の契約金額に占める再委託金額の割合は、原則2分の1未満でなければならない。

なお、再委託等の相手方に対して、業務委託契約約款、機密情報取扱特記事項及び情報セキュリティに関する特記事項に記載する事項を遵守させる必要がある。

おって、再委託等の相手方の行為については、受注者が再委託等の相手方と連帯してその責任を負うこと。

(4) 肖像権の使用許諾

本業務の実施に当たって、肖像権の使用許諾が必要となる場合は、必要な手続きの一切を、受注者の責任において行うこと。

(5) 有識者による監修

本業務は、筋力トレーニングに関する情報を制作・配信するものであり、内容に専門性を有するものである。

したがって、受注者は、発注者との連携のもと、業務の過程において、理学療法士をはじめとする医療専門職の監修を受けること。

(6) 成果品の帰属

ア 本業務により得られた成果は、原則として県に帰属する。ただし、受注者が従前より有する著作物あるいは第三者の著作物については、受注者あるいは第三者に帰属するものとする。

イ 受注者は、本業務の実施のために必要な受託者が従前より有する著作権あるいは第三者の著作権については、当該著作権の利用に当たり、支障のないよう適切な措置を講じなければならない。また、何らかの著作権に係る問題等が生じた場合、受注者の責任により対処するものとする。

(7) その他

この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者とが協議して定めるものとする。

(別紙1)

骨粗鬆症・骨折に対するリテラシーの向上に関するアンケート調査 質問内容

質問		回答の選択肢			
①	20歳までの食生活や運動習慣は将来の骨折の予防に関係している	知っている	知らない		
②	骨量のピークは20歳ごろである	知っている	知らない		
③	加齢や閉経によって女性ホルモンが減少することで、骨がもろくなる	知っている	知らない		
④	一度骨折すると、次の骨折が起こりやすくなる	知っている	知らない		
⑤	骨粗鬆症は治療が可能で、将来の骨折を予防できる	知っている	知らない		
⑥	骨粗鬆症による高齢期の骨折は寝たきりなどのきっかけになる	知っている	知らない		
⑦	骨粗鬆症は自覚症状なく進行する	知っている	知らない		
⑧	骨粗鬆症になると、ころぶ、重いものを持ち上げる、くしゃみや咳、体をひねるなどで、骨折する可能性がある	知っている	知らない		
⑨	筋肉を鍛えることで、骨を支え、転倒・骨折予防につながります。 日頃から足腰を鍛えていますか。 例：1日30分のウォーキング	鍛えている	鍛えていない		
⑩	現在の自分の状態を知るために、骨密度を測りたい	すでに、測ったことがある	測ったことはないが、今後、測りたい	測りたくない	
⑪	【⑩で「測りたくない」回答した方へ】 「測りたくない」のはどのような理由からですか。	痛みなどの自覚症状がないから	費用がかかるから（無料ではないから）	検診を受けるメリットが分からないから	その他